



令和3年度12月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和3年12月1日発行

〒351-0007 朝霞市岡199

電話(461)6540・fax(467)4742

心のエネルギー

校長 土橋 徹嘉

早いもので師走。この由来は諸説あるようですが、普段は走らない師匠の僧さえも走ることから師走になったとされているようです。十二月、社会や家庭では新しい年を迎えるための準備でも大忙し、学校でも学期末成績処理や三者面談、進路指導に係る資料作成等で先生方も校舎内外を駆け回っています。忙しくなって思うことの一つに「計画的に余裕を持った仕事を心掛けること」があります。忙しさの波に追われるのではなく、波に上手に乗っていききたいと思うこの頃です。

これから寒さ本番を迎えます。益々お身体ご自愛ください。

さて、人間には、身体的なエネルギーだけでなく、心のエネルギーというものがあるそうです。例えば、同じ椅子に1時間座っている場合、一人ぼんやり座っている時とお客さんを相手に座っている時とでは疲れ方が違います。つまり、前者の場合は身体的なエネルギーは消費されますが心のエネルギーは消費されません。ところが後者の場合は身体的なエネルギーの他に心のエネルギーが相当消費されます。ですから、とても疲れを感じます。これらのエネルギーの消費について考えてみると人間の不思議さが発見できます。先程の相手がお客さんでなく気心の通じた友人であった場合はどうでしょう。疲れるどころか以前よりも何か心のエネルギーのようなものが湧いてくるということがあります。スポーツを楽しんだときも同じです。心と体のエネルギーは相当消費されているはずなのに今までよりも仕事や勉強のやる気がわいてくるのです。そして、集中力が一層増し、能率が向上したりします。会社などの昼休みに好きなウォーキングや囲碁・将棋などをやった時などは、午前中にエネルギーをかなり消費しているはずなのに、午後の仕事の能率が上がるそうです。つまり、消費を上回る心のエネルギーがわきあがっているのです。趣味の活動をした場合にも大体同じようなことがいえるのではないかと思います。このような心のエネルギーは大人だけでなく子どもにとっても同じです。勉強勉強と言いつけるよりも、それ以外の友達関係、家族関係、部活動、趣味などにも着目して、心のエネルギーをいままで以上にわきあがらせ、学習意欲ややる気などにつなげていくことも大切なことだと思います。「AをさせたいならBと言え、Bをさせろ」という言葉もあります。人間どこかにある心のエネルギーの鉱脈をもっと掘り当て、大いに活用したいものだと思います。

最後に、年末の行事の一つに大掃除があります。学校でも新しい年を気持ちよく迎えられよう生徒、職員とで念入りに取り組みたいと思っています。保護者や地域の皆様には本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。この場をかりて厚く御礼申し上げます。それでは、よい年をお迎えください。



文化部展示(2, 3年昇降口付近)

合唱コンクールが行われました



日	曜	行事予定	給食
1	水	学校朝礼⑧ 各種委員会③ 2年落葉拾い	○
2	木	2年歯科指導	○
3	金	3年落葉拾い	○
4	土		
5	日		
6	月	45×5 1年落葉拾い	○
7	火	3年三者面談⑤⑥カット 3年生面接練習	○
8	水	3年三者面談⑤⑥カット 3年生面接練習	○
9	木	3年三者面談⑤⑥カット 3年生面接練習	○
10	金	3年三者面談⑤⑥カット 3年生面接練習	○
11	土		
12	日		
13	月	45×5	○
14	火	生徒朝礼⑦	○
15	水	3年アルバム写真撮影 各種委員会④	○
16	木		○
17	金	45×5 9・10組、1・2年保護者会	○
18	土		
19	日		
20	月		○
21	火	給食終了	○
22	水	40×4	×
23	木	40×3+50(大掃除) 黒目川清掃(午後)	×
24	金	終業式	×
25	土	冬休み(～1月10日(月))	
26	日		
27	月		
28	火		
29	水	学校閉庁日(～1月3日)	
30	木		
31	木		

11月1日(月)、2日(火)学年ごとに、朝霞市民会館にて合唱コンクールが開催されました。

- | | |
|---------------------|------|
| 1学年 | 指揮者賞 |
| 金賞 1-3「行き先」 | 1-1 |
| 銀賞 1-4「My Own Road」 | 伴奏者賞 |
| 銅賞 1-6「変わらないもの」 | 1-6 |
| 2学年 | 指揮者賞 |
| 金賞 2-8「心の瞳」 | 2-7 |
| 銀賞 2-3「空駆ける天馬」 | 伴奏者賞 |
| 銅賞 2-7「あなたへ旅立ちに | 2-6 |
| 3学年 | 指揮者賞 |
| 寄せるメッセージ」 | 3-2 |
| 金賞 3-6「決意」 | 3-7 |
| 銀賞 3-7「虹」 | 伴奏者賞 |
| 銅賞 3-2「走る川」 | 3-3 |

優秀賞 9・10組「炎」トーンチャイムの演奏

～3学年合唱コンクール実行委員長(3-5 さん)の開会の挨拶より～(全文)

「今日は、合唱コンクール当日です。今年も無事合唱コンクールが開催されますが、それは当たり前ではありません。皆さん、去年を思い返してみてください。2020年1月、新型コロナウイルスが流行し、瞬間に世界中がパニックに陥りました。そこからの1年半、非常に不自由な生活が続いたと思います。事実この合唱コンクールも多くの面で、影響を受けました。保護者の方々を入れず、座席を隔て、学年を分けて開催されています。それでも先生方は、この合唱コンクールを少しでも良くしようと開催に向けて努力してくれました。そのおかげで今、「ゆめばれす」で行えます。しかし二中を支えてきてくれたのは先生方だけではありません。保護者の方々をはじめとした、たくさんの方々が、二中を支えてきてくれました。皆さんも多くの方に支えられ、助けられてきたと思います。

そして他人の助けがなければ、今まで生きてこれませんでした。それは全ての人々が、そうだと思います。しかしどうでしょうか。皆さんは助けられた回数に対して、同じ数だけ感謝の気持ちを伝えることはできていますか。恐らく、あてはまる人は、ほとんどいないでしょう。



今年の赤学年のスローガンは「It's 唱 time ～ありがとうを伝える歌～」です。この「唱 time」の「唱」は、合唱の「唱」で、「ショータイム」「歌う時間」の2つの意味がかかっています。また、サブタイトル「ありがとうを伝える歌」は、先ほどの感謝というテーマにぴったりではないでしょうか。今までの感謝の気持ちを今、歌にのせて伝える。そんな意味が、このスローガンに込められています。

皆さんの中には、「受験」や「卒業」を意識している人も多いと思います。残り少ない中学校生活で、今この瞬間を大切に、感謝の気持ちを大切にする。そんな心が感じとられる合唱コンクールにしましょう。



なお、メール配信でお伝えした配信動画のアドレスは、二中保護者様へ限定に配信したものです。取扱いには、十分ご配慮ください。

～1月の行事予定～

- 11日(火) 始業式
- 12日(水) 給食開始、3年第3回南部テスト
- 13日(木) 発育測定 2年音楽鑑賞会
- 14日(金) 避難訓練(6時限目)
- 19日(水) 各種委員会
- 22日(土) 3年私立高校入試集中日
- 23日(日) 3年私立高校入試集中日
吹奏楽フェスティバル
- 25日(火) 生徒朝会
- 27日(木) 2年スキー林間学校(～1/29(土))
- 30日(日) 書きぞめ展
- 31日(月) 2年振替休業日



祝 朝二中駅伝全国・関東大会出場決定

11月6日(土)に行われた埼玉県中学校駅伝競走大会に男子チーム、女子チームが朝霞地区代表として出場しました。女子チームが優勝、男子チームも第14位と健闘しました。女子チームは、12月5日(土)に栃木県で行われる関東大会と12月19日(日)滋賀県で行われる全国大会への出場が決定しました。



アンサンブルコンテスト南部地区大会

11月18日(木)和光市民文化センターにて行われたアンサンブルコンテスト南部地区大会に、吹奏楽部2チーム(クラリネット四重奏)が出場しました。難しい課題でしたが、少ない練習時間の中で、よく頑張り、当日の演奏を迎えました。1チームが銅賞を受賞しました。



保護者と教師の会 校外パトロール

常任委員会が開催されました

11月19日(金)16:20より校外委員と本校職員による校外パトロールが行われました。

また、翌11月20日(土)10:00より保護者と教師の会 常任委員会が開催され、各委員会からの報告が全体でありました。

新型コロナウイルス感染症の影響により各委員会では試行錯誤の活動が行われております。日頃より、本校へのご支援、ご協力誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

川越・大宮方面のフィールドワーク

9・10組	11月5日(金)	川越方面
2学年	11月10日(水)	川越方面
1学年	11月11日(木)	川越・大宮方面

それぞれの学年・学級で校外学習へ行ってきました。久しぶりの校外行事が行われました。それぞれの学年・学級で、事後学習のまとめを行っています。



全国中学生アートの甲子園
2021 福井大会出品作品
左：2-8 右：2-2



3年生「性に関する指導」講演会

11月19日(金)5、6時限目に、一般社団法人埼玉県助産師会の方を講師にお招きし、3学年を対象に「性に関する指導」が行われました。

生徒からは、「この授業で、みんなが正しい知識を得ることができた」「性について詳しく深いところまで話してくれたので、初めて気づくことができた」「出産がどれほど大変なことが分かり、それに立会う助産師の仕事がすごいと思った」…。生理、妊娠、出産、性病など正しい知識を教えて頂く貴重な時間となりました。「命の大切さ」「生きること」について考えを深めるきっかけとなったようです。

なお、この内容については「保健だより12月号」に掲載していますので、ご参照ください。

